2013/11/18(月)　秋ＧＰコジマジック議事録

参加者：かわしま、くにひろ、こじま、たなか、なかじま、なかまる　　　　文責：川島

■宿題発表

◆国語全般

◎中島

　森岡健二「国語教育とは何か」1976

　・具体的な技能を教えることによって、基礎的な言語記号を体系的に指導することが犠牲になるのは×！！

　・内容の理解と表現は、肩や規則で押さえきれない思考や感性あるいは直観によるもの

　　⇒　文字力(漢字力)と語彙力の習得が重要。(文法は含めなくてもよい)

　大石初太郎「大学生の国語能力」1976

　・漢字の読み書き能力の低下は、漢字制限政策が直接の原因

　・中高における国語教育は、文学教育に偏向。これでは国語能力は養われない。

　・大学における文学では、国語能力を高める指導はほとんどされない。

　・国語能力は、聞く力・話す力・読む力・書く力にまたがるべき

　甲斐睦朗「国語力の在り方とその育成」2005

　・国語科の読解力とOECDの読解力は違うのに、混合している？　⇒　固語力低下？

　・国語科の読解力：文章の精細な読み取り

　・OECDの読解力：言語的な思考力…総合的な学習の時間で育成される能力？

　・指導要領においても、OECD型に近い言語能力が国語科で育成するべきだとなった。

　・国語力の概念がPISAの影響で変わってきている・・・？

◎小島

　坂本「小学校国語教育の課題―学生の言語表現力から―」2011

　・ＰＰ：ゆとり教育を受けてきた若者の言語表現力の低下

　・示唆：これからは生活や社会に生きる言語表現力を身につけるべき

　・主体的で探究的な学習の積み重ねが少ない＆日常で書くこと話すことの経験が乏しい

　・国語力　＝　理解力　+　表現力

by文科省H14.2月　文化審議会「これからの時代に求められる国語力について」

　・国語科教育：教科としての国語力を系統的に押さえている

　・国語教育：国語科と他教科を結び付ける指導が必須

◎田中

　大槻「言語活動の充実を図るための「国語」の新しい教科書の活用」2011

　・各教科で言語活動の充実を図る　ＢＵＴ　言語活動そのものの指導は国語の役割

　・国語の指導と他教科の言語活動の関係

　　①言語活動の学習は国語、言語活動の活用は他教科

　　②他教科で必要となった言語活動を国語で

　　③国語内で展開

　・まとめ：自主・探究・協同の学習に変えていくことで、言語活動の充実を図る

高橋2011

　・道徳教材と国語教科書は似ている。重なりが多い。

　・班：道徳でいくなら、石原千秋は読むべき

◆文学教育

　府川1999

　・文学教育：マニュアルに沿いすぎなことが問題。自由にやってこうぜ！

　渋谷1999

　・文学教育やろうぜ！

石川1989

　・国語科の目標：言語を通しての表現力・理解力を身につけること

　・教師が文学教材の放つ感動の論理を把握するべき

◆道徳教育

◎中丸

　宮薗美佳

　H20学習指導要領

・国語科の目標自体に道徳教育の要素が担保されている

　・国語科における道徳教育の扱いが、教材選択に大きく依存

　・H20：道徳教育の内容を国語科で　⇔　H11：国語科は固有の目的を持った教科

　・今回の改善点

　　「基礎的・基本的な知識・技能を活用し、相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決していく能力の育成を重視」

　　⇒　道徳教育も基礎の一部として扱うべき！

　河野哲也

　・石原：国語教科書から道徳や教訓を読み取ることが求められている。

　・国語で道徳を教えるのは悪くない。国語教育は倫理学的な道徳教育であるべき。

◎国広

　中嶋博

　・北欧であきらかになったこといくつか

　相澤秀夫

　・生きる力には、現場から意味づけを

　・国語科における生きる力としての伝え合う力は、総合的な言語運用能力

　井波玲子

　・国語教材の内容的価値とではなく、学習の仕方と連携して行うべき

　永田繁雄

　・言語活動の充実が中教審の改善事項の第一にある

　・道徳の時間メイン

　小森茂

　・国語科の役割

　　①他教科の目標実現のための「責任教科」という関係

　　②教科との関係

　　③道徳や特別活動との関係

　・国語科の言語活動の充実　+　道徳の言語活動の充実　＝　生きる力につながる

■議論

・国語力がメインだと思っていたけど、国語力スタートではない？

・ヨコ軸ではなく、タテ軸で見ていく？

・国語と道徳の関係　or　国語と言語活動の関係のどちらでいく？？

・ちかちゅの問題意識

国語の言語能力は、道徳との関連を配慮しすぎじゃない？

⇒　道徳方向怖くね？？

⇒　国語と言語活動の関係で考えていきましょう！！

・PP候補①：言語能力が軽視されている。

　・国語力低下　⇒　基礎力低下

　　But　政策　　では、すべての教科の基礎である言語能力を重視しようと言われている。

・PP候補②：PISAで見直すべきと言われているのに、教科書の方向性変わらず

・たなかの遺言：①時系列　②国語力・基礎力・言語能力とは　③各時代の国語力の低下

◆言語活動の変遷

戦前　　読・書

1945-1954　経験主義的(言語行動・コミュニケーション重視)

⇒　系統学習・体系的指導が求められる

1951　学習指導要領(試案)

1958　初！学習指導要領　＆　道徳新設

　　　目標：「言語生活の向上」：×知識　〇言語経験

1968　話・聞・書・読

　　　「言語生活の向上」という文言が外され、言語能力の育成に傾斜

1976　国語力低下(読・書・話・聞？)　　　　受験戦争・おちこぼれ⇒ゆとり路線START

答申

　　　・言語の教育としての立場を一層明確にし、表現力を高めるようにすること

　　　・「生活に必要な国語」という文言消える⇒人格形成的側面の後退が危惧された

　　　→何指すの？人格形成？　　　　　　 人間性・ゆとり・個性がキーワードに

1989　目標：理解重視(×話・聞)

領域構成：Ａ表現・Ｂ理解・および言語事項

1990　心の教育：道徳性を養うことにも資するように...

1996　生きる力

1998　目標：表現重視(〇話・聞)

領域構成：Ａ話・聞・Ｂ書・Ｃ読　(1968年版に戻る)

2000　伝えあう力

2003　PISAショック：国語力の低下が日本で言われるように　　　表現重視exコミュ力

　　　　　　　　　　　読解力：×文章を読み解く　〇必要な資料から必要な情報を

2006　教育基本法改正

2007　国語科改善の基本方針

2008　中教審答申：言語活動の充実…教育内容に関する主な改善事項の第一に挙げられる

◆学習指導要領「国語」目標

1947試案　聞く・話す・読む・つづる

1951試案　気宇・話す・読む・書く

◆用語

国語力とは

・理解力　+　表現力　by文科

国語の基礎力とは

言語能力とは

・経験によって身につく

・技能、態度、理解(by石森)を発達させるため、言語生活の向上＝週刊・態度を養うこと

言語活動

・言語記号　(漢字・語彙・文法)　(体系的系統学習)が基礎となる　by森岡

言語生活能力

⇒　経験の場としての生活の必要に応じて、言語経験を成功的に処理できる能力

読む生活　　　新聞を読む　　　文字を知覚する

　↑　　　　　　　↑　　　　　　　↑

言語生活　　　言語経験　　　言語活動(思考・論理・感性)

　　　　　　　　　＝

　　　　言語生活の具体的内実

◆国語力の低下はどんな文脈で言われている？

・読み書きの面で国語能力が低くなっている　by大石初太郎1976

・基礎学力の低下、特に語彙力の低下は高等教育機関において悪影響　by山森泉2006

・「ゆとり教育」の影響で言語表現力の低下　by坂本芳明2011